

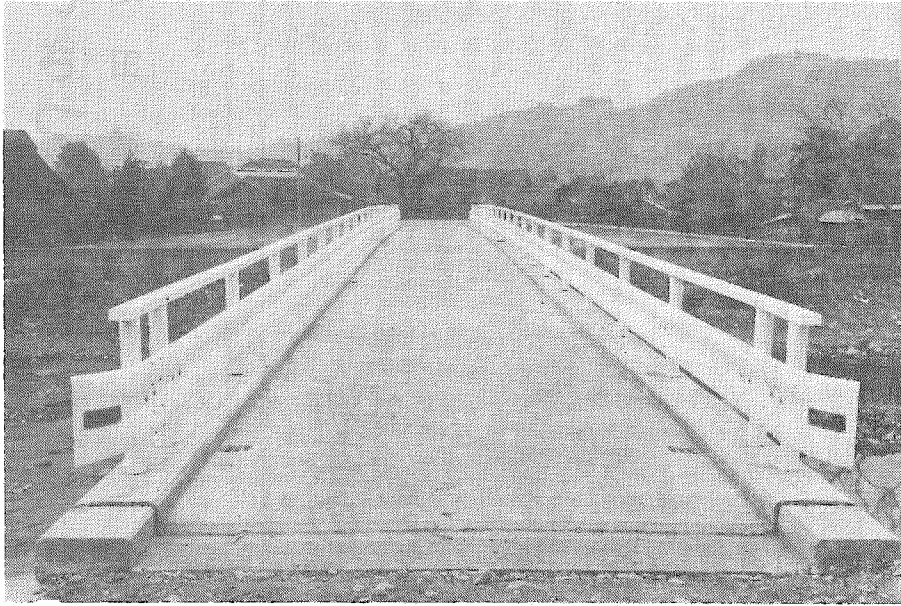


あいら

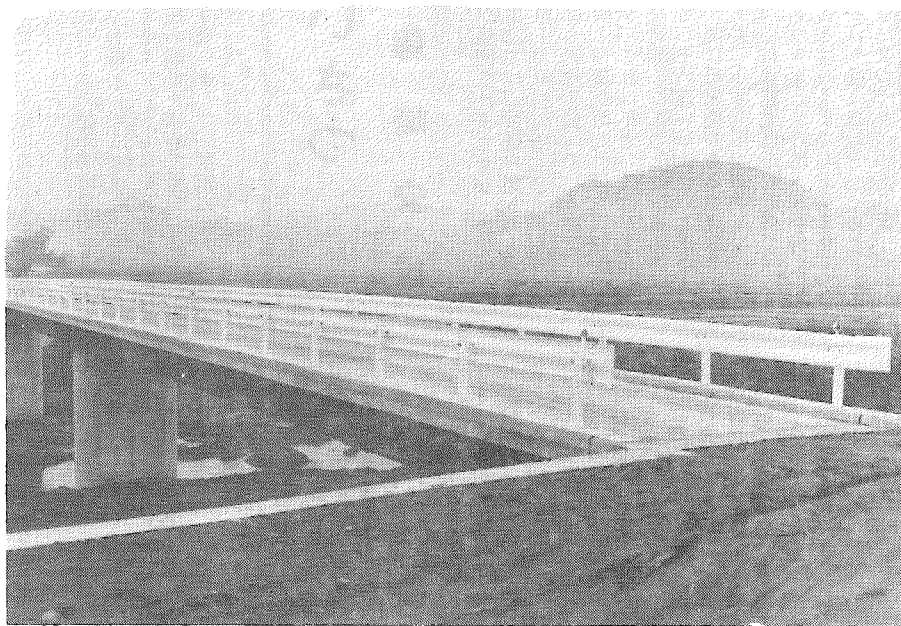
発行所 鹿児島県始良郡始良町役場
 発行人 池田盛孝 編集人 雨乞 信

(印刷所)
 キング堂印刷所

町の人口動態		(12月1日現在)	
世帯数		7,060戸	
人口	男女計	11,005人	12,795人
		23,800人	
11月の	出生	20人	
	死亡	19人	
	転入 転出	137人 122人	



(完成した瀬戸川原橋)



(完成した豊中橋)

豊中橋と瀬戸川原橋が完成

(とじておくと便利です)

復旧がいそがれていました豊中橋と瀬戸川原橋が完成しました。両橋は、四十四年六月の豪雨によって流失したのですが、このほど災害復旧工事によりりっぱな

コンクリート橋に生まれ変わりました。豊中橋は、豊留部落と中川原部落を結ぶ唯一の橋で、今後産業経済の振興はもちろんだ部落の連絡橋としてまた、瀬戸川原橋は、農

林業の生産にはたす役割は大きいものがあります。両橋の完成によりまして、町内の重要路線にかかっている大きな橋は、ほとんど全部が永久橋になりました。両橋の概要は、豊中橋が、幅員三メートル、橋長七十五メートル、工事費は一千三百七十九万二千元(内、国庫負担金四百九

十八万七千元)瀬戸川原橋は幅員二、五メートル、橋長四十メートル、工事費六百六十五万円(内、国庫負担金四百七十七万円)であります。町民及び地区民はこの両橋を大いに利用していただきますと共に十分かわいがっていただきたいと念願いたします。

新年のごあいさつ

始良町長 池田盛孝



一九七一年の輝かしい新春を迎えました。昨年はたいした災害もなく、平穏な年でございましたが町民の皆さんは、いかがだったでしょうか。いずれにいたしましても、お健やかに、ご越年なされたことを、先ずおよろこび申し上げます。

さて、本年は亥の年でございませぬ。「猪突邁進」という言葉の通り町政が真すぐに突進むことを願っております。

よく、「一年の計は元旦にあり」と申されますが、町民皆さんはすでにりっぱな計画をおたてになつたこととお察しいたします。

仏教の言葉に、「善を修するものは十善を修し、一悪を廃するものは悪を廃す」の教えがございませぬが、物事の大事さは、はじめにあつて、そのはじめの一つが十のことに及び、百にも及ぶことを教えております。

私もこのような観念に立ちまして、本年はまず、私が八年前、町政をお預かりした当初からの目標でございませぬ、真の平和で、豊

かな明るい町づくりの達成と住民の福祉であります。

すでに一歩一歩とこれに近づくつてありますが、更に私はこのことを念頭に置きまして、町政を担当いたします決心でございます。

現在まで手掛けてまいりました川南地域の都市化を目ざしまして進めております重富第一区画整理事業、豊かな農業経営を目ざします川北地域の第二次農業構造改善事業、堂山、成美、木津志小学校の統廃合、三叉、船津小学校の統廃合、重富小学校、建昌小学校の新築工事や青少年の育成指導等又九州縦貫道の着工、国道十号線バイパスの建設、日豊線の複線電化や太陽国体競技場の準備等数えあげればきりはありませんが事業の中には、未完成のものも多々ありますので、これらの一日も早く完成することを念じています。

そして、さらに公害のない工場誘致、小中学校の教育施設の充実、全町道の舗装、県道の拡幅、舗装、川南地域の農集電話の開通などが町が大きき発展するためには、まだまだたくさん仕事がございます。

しかし、これまで皆さんのおよせくださいましたご指導とご協力によりまして、わが町も年毎に人口は増加し、県下で屈指の雄町に育つてまいりましたことを皆さんと共に喜ぶ次第であります。

今年にはさらに人口の増加に伴い各種各様の住宅もつくられ、農、商業をはじめ、いろいろな方面に大きく飛躍する年でありましょう。幸い昨年十二月議会において始良町振興計画も承認されましたのでこの基本計画に基づく田園都市を想像いたしております。

新年のごあいさつ

始良町議会議長 藤崎安雄



希望に満ちた昭和四十六年の新春を迎えるに当り、町民皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に、昨年中のご協力、ご支援に対し厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますとき、まことに多事多難な年でありました。晴天のへきれきの如き米の生産調整をはじめとし、塵芥焼却炉建設、公害問題などで明け暮れましたが、町民総親和のもとご協力を得て初期の目的を達成できまして、これを深く感謝いたしております。

一年の計は元旦にあり、古い古るされた言葉ではあります、この一年の計をたてる時、しなればならない仕事は山ほどあるようです。

昨年十月全国一せいに国勢調査

私は、年頭にあたり心を清め、気持ち新たにいたしまして、町民皆さんの倍旧のご協力を衷心よりお願いいたしますとともに、私もさらに、さらに町政の発展と住民の福祉を求めて努力しますことを誓いまして、年頭のごあいさつといたします。

が実施されましたが、鹿児島県が集計では、皆様お聞きのとおり、県下の町村の殆んどが、人口減、即ち過疎で悩んでいる中で、始良町と伊集院町だけは人口増加ですが、これは年老いて行く老人と、発育盛んな若者と比べるのと同じで、その違いは大きいと思っております。

実に将来性のある始良町であります。

これは鹿児島市の近郊でベッドタウンとしての地の利を得ていることはいうまでもありませんが、やはり受入体制をつくるのが大切で又つくりつつあります。

この好現象に備えて、もっと明るく、住みよい、豊かな町造りをめざして努力しなければならぬと責任を痛感いたしております。

昨年町では企画課を中心となり始良町振興計画基本構想をまとめ、議会は承認しましたが、この基本構想は、田園都市としての、始良町の未来像をかかげ、都市区画整理、宅地造成、住宅団地の誘致、上下水道の施設拡充、学校施設の増改築統合、環境衛生美化、常備

消防署の設置準備など日常生活の面ばかりでなく人口に伴う火葬場や共同墓地の計画に協力しております。それと人口流出を防ぐことでも、人口政策の一つですので、町内で働く場所があること。即ち総べての産業を起し、公害の少ない工場誘致はしんけん考える必要があります。

その他町と直接関係のある国や県の仕事で、九州縦貫道の着工、国道十号線バイパスの建設、日豊本線の複線、電化など始良町発展の基礎になるものでありますのでこれに協力せねばなりません。

それ以来年は太陽国体が開かれますが始良町もラグビー競技場として全国の選手と関係者それに観覧をかねて観光されるでしょうがこれらの人に、気持ちよく過したもらつたり、通過していただくためにも、美しくきれいな親切な町であつたとの印象をもつて帰つていただかねばなりません。戦前は不言実行とよくいわれましたが今は有言不行が多いようです。塵一つ拾う気持ち、花一本植える気持が大切で、三ない運動も、花一ばい運動も、実行しなければなりません。以上挙げてみましたが、本年度の仕事がございました、今年度中完成するものもありません。

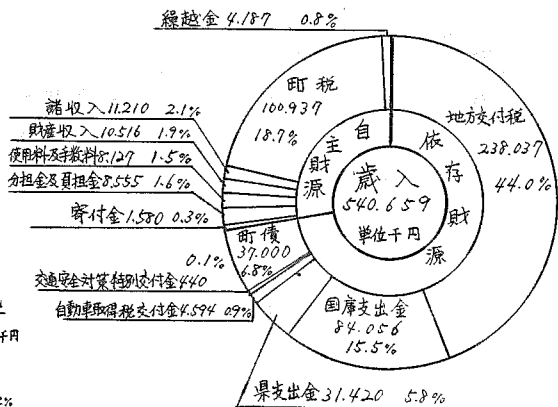
四、五年継続事業もありましてここに輝かしい新年を迎え過去を顧み、将来を企画するときその責任の重大さを痛感し、身のひきしまる気がします。

何とぞ町民皆様も健康に留意され、町をはじめ議会と共に一致団結して町勢発展のためご尽力くださいますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

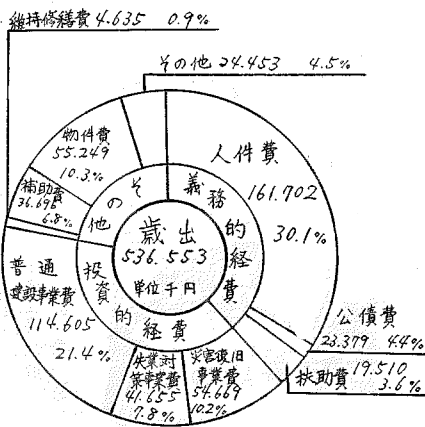
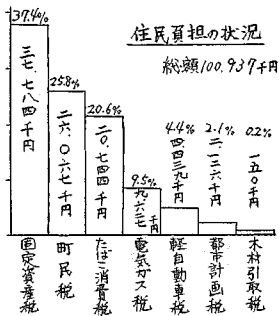
44年度決算を認定

第三回定例議会におきまして昭和四十四年度の決算が認定されましたので、そのあらましをお知らせします。

一、一般会計



歳入の六十七パーセントは国庫からの交付税や補助金です。尚一般会計の収入は五億四千六百五十九万九千円、支出は五億三千六百五十五万三千円です、差引き残額は四百一十万六千円の黒字となりました。また、町民みなさんの一人当りの税負担額は、四千三百十八円です。

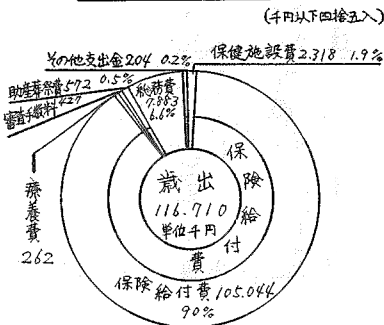
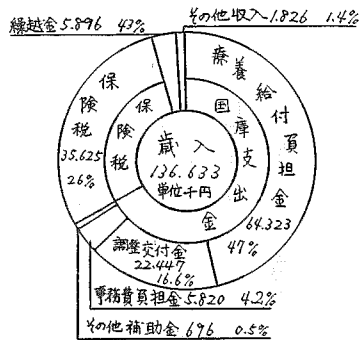


又一人当り使ったお金は二万二千九百五十四円となります。以下グラフによって昭和四十四年度の財政状況をお知らせいたします。

二、特別会計

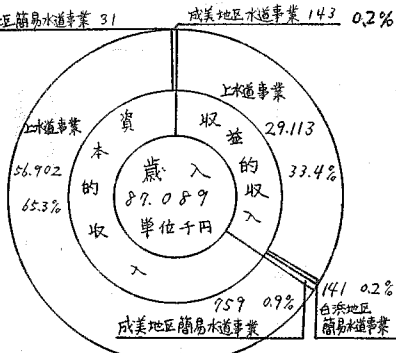
(1) 水道事業会計

収入は一億七千七百八十九千円、支出は九千五百十三万八千円（収入支出、千円以下切捨て）で八百四十九千円の年度純損失となりました。この損失は、ご承知のように上水道事業をはじめましてからまだ日があさく、施設能力に對しまして普及率が五十パーセントと極めて低いため、事業収益三千一万三千円に對しまして、事業費用は三

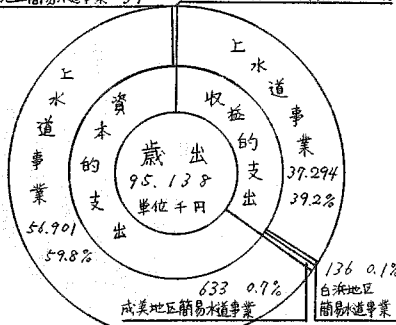


(2) 国民健康保険会計

収入は一億二千六百六十三万三千円、支出は一億一千六百七十一万円で差引残額は、一千九百九十二万三千円の黒字となりました。また、みなさんの一人当りの保険負担額は、三千百三十三円で町が医師に支けた一人当りの医療費は、八千八百九十三円となりました。



白浜地区簡易水道事業 31 成美地区簡易水道事業 143 0.2%



県下の市町村の保険料の平均は一世帯当り九千二百七十九円で始良町は、八千八百五十三円となっています。また、毎年少しづつ保険料が上つていますが、これは被保険者が老令化により病気がちの人が多く受診率が高いことと医療費等の値上げによるものです。

今後、さらに普及に努めなければなりません、みなさんのご協力をお願いいたします。

農業者年金が

46年1月1日から発足しました

農業者年金が発足しましたので次に概略をお知らせします。

一、目的

農業者年金は一般的老後の補償を目的とする国民年金だけで充たされない農政上の要請、経営移譲の促進、農業経営規模の拡大および近代化に資するため国民年金の上積みされるものです。

二、対象者

国民年金の被保険者である農業経営主及び経営主の指定する子若しくは孫の中の一人が申し出によって加入できます。

三、農業者年金の加入区分等

①当然加入 当然加入は耕作又は養畜の事業を行なっている者で、所有権又は使用収益権に基づいて、経営している農地等の面積が五〇アール以上で、大正五年一月一日以降に生まれた者で、国民年金の被保険者となっている者、国民年金の強制加入と同一のものです。
②任意加入 所有権又は使用収益権に基づいて経営している農地等の面積が、五〇アール未満、三〇アール以上の経営主か、又は当然加入対象面積以上の経営主の子か、孫で三年以上農業に引き続き従事している者のうち、経営主が、

後継者として指定した者一人が申し出により被保険者となることが出来ます。

給付の種類	保険料納付済期間	5年 20年 25年 30年			
		60才以上65才未満の給付	経営移譲を要件とする給付 ①	8,000	16,000
65才以降の給付	経営移譲を要件とする給付 ②	800	1,600	2,000	2,400
	経営移譲の有無にかかわらず行なう給付 ③	1,000	4,000	5,000	6,000
	国民年金所得比例給付 ④	900	3,600	4,500	5,400
	国民年金定額給付 ⑤	6,000	9,600	11,200	12,800
合計		(7,900) 8,700	(17,200) 18,800	(20,700) 22,700	(24,200) 26,600

四、農業者年金の保険料等

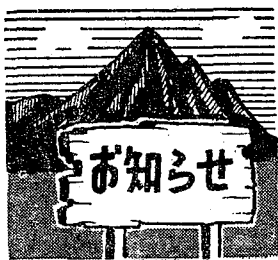
農業者年金保険料は月七五〇円です。
なお、国民年金所得比例三五〇円と併せ納入することになります。

五、農業者年金の種類

- ①経営移譲年金
- ②農業者老令年金
- ③一時金(脱退一時金、死亡一時金)
- ④給付のしくみ

給付のしくみは次の表のとおりであります。

なお細部については、部落別座談会を開催して説明しますので、該当者と思われる方は、是非出席ください。よろしくお願いいたします。
(農委局長)



引揚者特別交付金国債の担保貸付について

このことについて今回、多額の貸金、貸付枠の割当がありましたので、ご希望の方は左記により、早急に申し出て下さい。

記

- 一、申込場所 町役場福祉課
- 二、携行品 印鑑、国債

○町長選挙の投票日は、一月十七日です。

○大事な一票です。必ず投票しましょう。

○義理、人情での運動や投票は違反のもとです。正しい一票を投じましょう。

寄付金

次のかたがたからご寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

香典返しとして町社会福祉協議会へ寄付

- 一金参千円也 故南 林様 69
- 中川原 南 コヨ殿
- 一金参千円也 故上村 実様 77
- 森山 上村 力殿
- 一金五千円也 故今井静夫様 83
- 宇都 今井ノブ殿
- 一金参千円也 故飯屋豊二様 68
- 住吉 飯屋しおみつ殿
- 一金参千円也 故有江ケサ様 93
- 春花上 有江 勇殿
- 一金参千円也 故有村弥高様 76
- 奥山花 有村 スズ殿
- 一金参千円也 故井田匡章様 0
- 年平 井田 哲則殿
- 一金参千円也 故末吉タ子様 87
- 油屋 末吉 義則殿
- 一金五千円也 故小山時良様 58
- 堂山 小山コトエ殿
- 一金五千円也 故赤松則隆様 68
- 十日町 赤松 シツ殿
- 一金参千円也 故西原貞盛様 69
- 城下 西原ハツヨ殿
- 一金壹万円也故柳迫チヨケサ様 88
- 中津野 柳迫 俊雄殿
- 一金参千円也 故石川美津江様 39
- 白金原 石川 道治殿
- 一金五千円也 故内村ナツ様 75
- 内山田 内村 敏明殿
- 一金参千円也 故山田寿美子様 33
- 宇都 山田 幹殿
- 一金五千円也 故井之上フデ様 85
- 白金原 井之上昌雄殿
- 一金参千円也 故佐藤スエノ様 75
- 建昌 中野 光雄殿
- 一金参千円也故竹之内ヨシエ様 78
- 森 伊東 賢一殿
- 一金壹千円也 故平林八重様 63
- 東原西 平林 孟殿